

「岐阜県長期構想中間取りまとめ」に対するパブリックコメント意見とそれに対する県の考え方

	意見(要旨)	意見に対する県の考え方	本文修正あり
V ふるさと岐阜県を未来につなぐ人づくり			
1 子どもを産み育てやすい地域をつくる			
1	<p>安心して子育てのできる地域では、地域の人のつながりが再構築される。未来の地域の担い手を温かく迎える環境を整えることが必要。</p> <p>P111の「子どもを産み育てやすい地域をつくる[少子化に歯止めをかけるは省略する]」をP59の「I 安心して暮らせるふるさと岐阜県づくり」の項目に移動させる。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、以下のとおり修正いたします。</p> <p>P112「子どもを産み育てやすい地域をつくり、少子化に歯止めをかける」 →「子どもを産み育てやすい地域をつくる」 また、ご意見にあるとおり、子どもを産み育てやすい地域づくりは、安心して暮らせる地域づくりでもございりますが、長期構想においては、子どもを産み育てやすい地域をつくるのが、未来の岐阜県づくりの根幹であるとの認識のもと、「V ふるさと岐阜県を未来につなぐ人づくり」の中に位置づけております。</p>	○
2	<p>超高齢化社会の到来は理解できるが、高齢者対策ではなく、もっと子どもたちに手厚い政策を実施して欲しい。</p> <p>少子化対策に積極的に取り組んでいる企業が報われる施策(優先発注等)を実施して欲しい。</p>	<p>ご指摘のとおり、高齢者に対する取組だけではなく、子どもを産み育てやすい社会をつくり、少子化に歯止めをかけることも重要な政策であると考え、長期構想においても重要な柱として位置づけております。子どもを産み育てやすい地域をつくるためには、子育てしながら働き続けられる環境づくりが重要であり、子育て支援企業の登録拡大など、子育てにやさしい企業の増加に向けた取組を進めてまいります。建設業務の発注に際しても、入札参加資格の格付けの中の主観的評価項目に平成18年度から少子化に対する取組を新たに設けるなど、少子化に向けた企業の取組を促進するよう取組を進めます。</p>	
3	<p>子供を産み育てやすい岐阜県づくりプロジェクトについて、このプロジェクトの達成目標が解かりません。これで出生率が大幅に上がるとも思えません。達成目標を設定し、これからの幅広い世代から意見募集をしてみてもどうでしょうか。出生率の向上は税金を優先的に使うべき取組であると思います。</p>	<p>少子化対策においては、子どもを産み育てやすい社会にしていけることが何よりも重要であると考えて、重点プロジェクトについても「子どもを産み育てやすい岐阜県づくり」プロジェクトとしております。今回少子化対策に限らずすべての政策について、可能な限り県民全体で目指す数値目標と、県が取り組むべき数値目標の2つを設定したところであり、この数値目標の達成に向けて必要な政策を進めてまいります。政策を進める中では、いただいたご意見も参考にしながら、県民の皆様のご意見をお聞きしながら効果的な施策の検討をまいります。</p>	
4	<p>第5章V1「子どもを産み育てやすい地域をつくり、少子化に歯止めをかける」について、高齢者にはがまんをしてもらってでも、子どもや若者に手厚い政策に切り替えていかないといけない。</p>	<p>長期構想は県民の皆様が希望と誇りを持てる岐阜県となるよう、安心して暮らせる地域づくりや誰もが活躍できる地域づくりなどの政策の柱を掲げて取組を進めてまいります。そのためには、高齢者の安心のための介護や医療の体制などの充実などについても重点的に取り組んでいくとともに、ご意見にあるとおり、少子化対策や人づくり、若者が活躍できる地域づくりに向けた取組などについても同様に重点的に取り組んでまいります。</p>	
5	<p>「V. ふるさと岐阜県を未来につなぐ人づくり」の「1. 子どもを産み育てやすい地域をつくり、少子化に歯止めをかける」の項目の中に、各市町村で個別対応している「中学校までの子どもの医療費を全額助成する」項目を県主導の元の政策として加えて欲しい。</p>	<p>少子化に関する取組については、各市町村においてもそれぞれ地域の実情・個性に応じた取組を進めており、県としましては、市町村との役割分担を踏まえ、こうした市町村の取組支援や、県民全体の意識高揚に向けたキャンペーンの実施など県全体での広域的な取組を進めてまいります。</p>	
6	<p>子育ては重要。子育てを教育していく必要がある。</p>	<p>次代を担う子どもを産み育てやすい社会をつくることは、人づくりの基本であり、何よりも重要であると考えており、長期構想においても「子どもを産み育てやすい地域をつくる」を政策の柱に位置づけているところです。そのために、子育てマイスター制度などを通じた子育て相談やアドバイスなど、子育て相談等を行う地域子育て支援拠点の設置に対する支援など、ご意見いただいた子育てに対する相談やアドバイス等の支援についても進めてまいります。</p>	

7	5章V1で、親と同居したいと考える若い女性が増えているようであるが、これは、夫婦共稼ぎが増え、子どもの面倒を親にみてもらいたいという考えや子育てへの不安の表れのようなものである。安心して子どもを生むことができる環境づくりは、全ての事柄の基本となることであるので、県としてぜひ重点的に取り組んでもらいたい。	次代を担う子どもを生み育てやすい社会をつくることは、人づくりの基本であり、何よりも重要であると考えてあり、長期構想においても「子どもを生み育てやすい地域をつくる」を政策の柱に位置づけているところであり、重点的に取組を進めてまいります。	
8	中小・零細企業では、産前産後の育児休業を取得してもらうこともなかなか大変であるので、行政のフォローが必要である。	子どもを生み育てやすい岐阜県をつくるためには、働く女性の子育てに対する不安を軽減することが重要であると考えており、長期構想の重点プロジェクトにおいても、出産や子育てにやさしい企業の拡大に向けた取組のほか、産前・産後期の体調不良時に育児・家事を手伝ってくれるヘルパー派遣サービスの仕組み構築など、働く女性への支援を進めてまいります。	
9	人口減少に歯止めをかけるには、とにかく子どもを生んでもらうしかない。「V 働く女性の子育て支援企業の拡大」に記載されているプロジェクトは素晴らしいが、育児休業制度を充実した企業にメリットがあるインセンティブを与えるようなしくみも考えていただきたい。	他の企業のモデルとなるよう子育て支援の取組を実施している優良事例を表彰し、県のホームページや新聞等で広くPRするなど、子育て支援企業の拡大に取り組んでまいります。いただいたご提案も参考にしながら、子育て支援企業の拡大に向けた取組を進めてまいります。	
10	第5章－V－1(P111)の人口減少に歯止めをかけるため、結婚させる政策を実施して欲しい。例えば、生活費や住居費や子育て費用を助成したり、その財源として独身税を取るなど、大胆な政策を提案してもらいたい。	長期構想においては、結婚・出産・子育てに希望の持てる地域にしていくことが必要であると考え、社会全体で結婚や子育て家庭を応援する雰囲気をつくるための取組やこれから結婚や子育てを迎える人を支援する取組を進めてまいります。	
11	5章V－1について、子育て支援というが、まずは婚姻数を増やさないといけない。行政も出会いの場をつくるくらいのことをしてほしい。	ご指摘いただいたとおり、結婚を望む人に対し、その願いがかなうよう支援することは重要であると考えており、長期構想にも位置づけているところです。今年度には、独身男女を応援するため、「ぎふ結婚ハッピープログラム」という名称で、異性と接する時のマナーや心構え、コミュニケーション方法等習得するセミナー並びにセミナーで習得した内容を活用するイベント(食事・交流会)をカップリングパーティーの形式で実施する取組を実施したところであり、今後も引き続き、結婚を望む人に対する支援を行ってまいります。	
2 多様なつながりを持ち、地域を支える力を持った人を育てる			
1	地域で高齢者、子どもを支え、育てる仕組みづくりはよいことだと思いますが、自主自立の活動が小さな地域に行政ながら下りてくると、強制的なものになりがちです。是非、自主性を全面にして進めてほしい。	地域でつながり、支え合い、地域をよりよくしていこうという地域の取組については、地域住民が主体的に進めていくものであると考えており、県といたしましては、その後押しをするような支援、市町村に対する支援などを進めてまいります。	
2	5章V2で、昔は、となり組などで地域のコミュニケーションが保たれていたが、核家族化が進み、隣近所とのコミュニケーションが途絶えたことにより、老人の孤独死といった痛ましい事案まで起きている。昔のようなコミュニケーションを取り戻すのに地域のお祭りが大変有効であるので、県も積極的に関わり、活動が活発となるように後押ししてもらいたい。	ふるさとに誇りを持てる地域づくりを進めていくためには、地域を支える意欲を持った人が必要であり、よりよい社会をつくるために、人とつながり、ともに地域を支える力を育むことは、人づくりにとって重要であると考え、多様なつながりを持ち、地域を支える力を持った人を育てることを、人づくりにおける重要な柱に位置づけたところであり、地域の祭りなどへの参画は、多様な人とならざる力を育てるためにも、地域の文化について知りふるさとに誇りと愛着を持つためにも重要な取組であり、こうした地域の祭りや行事への参加など子どもの頃から地域の大人など多様な人たちと関わる体験などの取組を重点的に進めてまいります。	
3	人と人とのつながり希薄になってきている。他人を思いやる「ぬくもりのある関係」を築くことが大切。人と人が「生き合っている」という実感を持って暮らせる、人の心を暖かくさせる行動ができる人が溢れる岐阜県にしていく必要がある。大きな運動でなくてもいいので、そういう取り組みが必要ではないか。	ご指摘のとおり、世帯構造やライフスタイルの変化などに伴い、地域の人と人とのつながりが希薄になってきており、これによって地域社会の力が衰えていくことが懸念されています。こうした課題に対応し、ふるさとに誇りを持てる地域づくりを進めていくためには、よりよい社会をつくるために、人とつながり、ともに地域を支える力を育むことが重要であると考え、多様なつながりを持ち、地域を支える力を持った人を育てることを、人づくりにおける重要な柱に位置づけたところであり、多様な人とならざる力を育てるために、幼児期からのコミュニケーション能力や協調性、他者に対する思いやりの心を育てるため、子どもの頃から地域の大人など多様な人たちと関わる体験の充実などの取り組みをはじめ、既存の人権教育・啓発の充実・強化を図っていきたくて考えております。	

4	<p>P113の「(1)幼児期から「人とつながる力」を育てる」の前に「乳児期の子ども自らが持つ「人とつながる力」を承認し、応援する環境を整える」という一項を新たに政策として加える。</p> <p>従来なら家庭・地域がそのような役割をしていたが、今はその機能を家庭・地域では意識的に創出しないと望めない。従来の幼児から(集団保育の場に入ってからという)という発想では遅い。そのため、保育所・地域子育て拠点などを中心に地域という環境を整えることが必要。地域子育て拠点や保育所は「地域(小さな)」への「入口」であると同時に、「地域(大きな)」への「出口」でもあるという発想が必要。そういう場で、「家庭」だけではない「地域」(まずは近所の人)への信頼感を育てていくことが、乳幼児にとっても、人とつながりに困難を抱えて成長してきた親にとっても必要なことである。</p>	<p>地域子育て支援拠点は「子育て親子の交流の場の提供と交流の促進」が基本事業であり、身近な場所への設置を支援してまいります。</p> <p>5章のp114の表題「〇幼児期から「人とつながる力」を育てる」を「〇乳幼児期から～」にし、(1)に次の一文を加えます。</p> <p>◆<u>地域子育て支援拠点の身近な場所への設置を支援し、子育て親子の交流等を図る。</u></p>	○
5	<p>子どもが学校の外で学ぶことは大切であり、地域が受け止める場所としくみづくりが必要である。県職員が教える側で関わりをもつシステムづくりができないか。</p>	<p>ふるさとに誇りを持てる地域づくりを進めていくためには、地域を支える意欲を持った人が必要であり、よりよい社会をつくるために、人とつながり、ともに地域を支える力を育むことは、人づくりにとって重要であると考え、多様なつながりを持ち、地域を支える力を持った人を育てることを、人づくりにおける重要な柱に位置づけたところです。多様な人とつながる力を育てるためには、ご指摘にあるとおり、子どもの頃から地域の大人など多様な人たちと関わる体験を充実することが必要であり、児童生徒の体験学習についても重点的に取り組んでまいります。</p>	
6	<p>地域社会人育成のプロジェクトとして、人と関わりを持つことが出来るようにするのは必要だが、「人とつながる力」としてここまで大きく掲げるのは、他に必要な「力」とのバランスを欠かないか。</p>	<p>本長期構想は、人口減少に伴う社会の変化など、各分野ごとの現状分析、将来推計などを行い、現在あるいは将来起こりうる課題を抽出し、その課題解決のためには何をすべきかという問題意識から政策の方向性を導き出す、いわば課題解決型の視点で策定している点に大きな特徴があると考えております。ご意見でございます「つながる力」につきましても、世帯構造やライフスタイルの変化などにより、地域とのつながりが希薄になってきており、これによって地域社会の力が衰えていくことが懸念されるという問題意識から、敢えて「つながる力」が重要であるということで、柱として提示させていただいております。もちろんご意見でございますように、人づくりに関しましては、自立力、共生力、自己実現力のバランスのある地域社会人を育成することを目指して政策を進めてまいります。</p>	
7	<p>近接及び補完性の原理を強調するのならば、基礎的自治体への取り組み、特にコミュニティに対する政策は必要と思いますが何処にも見当たりません。岐阜県は他の県に比べてソーシャルキャピタル指数が高いと謳っていますが、それは過疎地域の連帯意識が強いだけであって、少子高齢化社会でお互いに支え合うシステムづくりを構築するという住民意識までで止揚されていません。高齢者や障害者を地域で支え合い、災害を地域で助け合い、子どもを地域で育てる仕組みをつくるという動機と政策・施策が構想には不足しているように思います。</p>	<p>県民の皆様が安心して暮らすことができるためには、隣近所との助け合い、支え合いなど自分の住んでいる地域で安心して楽しく生活できることが重要だと考えております。そのため、長期構想においても、地域でつながり支え合うことが重要であると考え、「つながる力」の育成を重要な政策の柱に位置づけております。そのために地域づくり活動の担い手づくりが重要であり、NPOなど担い手育成に対する支援を進めてまいります。またご指摘にありますよう、自治会をはじめ地域コミュニティの活動も大変重要であり、市町村と連携しながらそれら組織やその他住民の方の自発的なまちづくりを支援するなど、地域づくりに対する支援にも取り組んでまいります。</p>	
<p>3 将来の夢や目標の持てる子どもを育てる</p>			
1	<p>「目指すべき将来像」として、構想案がまとめられている。重要な問題を列挙され、その対応策が示されている。ただ、長期構想となると、最も重要な点は教育であると考えられる。第5章に「将来の夢や目標の持てる子どもを育てる」という項があり、その中で人間教育の重要性について述べられている。初等教育の重要性は当然よく理解するが、高齢者の介護や見守りのための教育、地域医療を確保するための教育、安心したモノや食品を作るための教育などなど。中等、高等教育についてのビジョンが少し弱いと思う。ものづくり、農業、林業、畜産業、観光などを県の活力にするのならそのための人材教育、高等教育を充実させるビジョンがほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり、活力ある岐阜県を目指すためには、高度産業人材の育成、あるいは介護や医療を支える人材の育成などの人づくりは大変重要であると考えており、長期構想においても、福祉教育の推進、キャリア教育や産業教育の充実について、それぞれの分野の政策の一つに掲げており、いただいたご意見も参考にしながら重点的に取り組んでまいります。</p>	

2	<p>国が権限を持ち県として関与は少ないとされる所に課題が多く山積しているのではと思わざるを得ない。例えばPTAを取り上げると、組織は形骸化し役員はたらい回し参加するのは90%以上女性、なぜ男性のみ参加する期日を月一回以上持てないのか。男女半々とならない理由はなにか「育休」のように法で制定しなければ学校も教育委員会も動こうとしない体制に危機感を覚えるのはわたしだけでしょか。一考が求められます。ついで自論ですが4年の大学教育とペーパーテストのみで子どもを持った経験(大半)のない人に教育ができるのか。明治の体制から100年以上たち21世紀に入り通用すると考えること自体変だと思わざるを得ない。ちなみに自治会活動で教師は社会常識に難点がありと実感しており社会人の経験を得た人が当るべき職業ではないだろうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、子どもの教育は学校だけで行うものではなく、家庭教育が非常に重要であると考え、長期構想においても家庭教育支援の充実を政策の一つに掲げており、PTAと連携した取組を進めるとともに、PTA活動の活性化に向けた支援等にも取り組んでまいります。</p> <p>また、教育にあたって、ご指摘のとおり、教員の資質向上は非常に重要であり、優秀な人材確保のための教員採用システムの確立や、教員研修の充実などの取組を進めてまいります。</p>	
3	<p>子どもは地域の宝であるが、王様扱いをしてはいけない。初めの段階で規律をしっかり教え込まないと健全な育成につながらない。学校教育においても、もう少し厳しさが必要であると感ずる。</p>	<p>教育においては、自分に自信を持ち、たくましく生きることのできる「自立力」と、人や社会とつながり、豊かな人間関係を広げ、互いを活かすことのできる「共生力」、そして高い志を持ち、夢に挑戦することのできる「自己実現力」をバランス良く持ち、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」の育成を目指しているところです。地域社会の一員として行動できる人づくりのために、社会のルールや規律などに対する教育も家庭や地域と連携して進めてまいります。</p>	
4	<p>5章V3で、これからの教育を考える際には、日本で今までに行われてきた教育に立ち返り、その良さを取り入れることも必要ではないか。</p>	<p>いただいたご意見も参考にしながら、地域社会人の育成に向けた取組を進めてまいります。</p>	
5	<p>教育方針が明確ではないような気がします。構想は政策目的として「自ら考え行動する力を育てる」を掲げ、「確かな学力を育成する、児童生徒の多様な個性を伸ばす、心の教育を充実する」などの方針を示しています。これらの目的や方針は当たり前が故に反論ができません。しかしあまりにも抽象的なゆえに、子どもの関わる具体的な教育の形が見えてきません。少なくとも、PTAが具体的な方針を共通の認識として共有することができなければ、構想の実現は難しいと考えています。そもそも「自ら考え行動する力を育てる」とは、かつての「生きる力」と同じ意味なのか、それが「確かな学力」とどのような関係にあるのかなどの説明がありません。そして何よりもこの間の方針変更に伴う総括がないことに違和感を覚えます。「自ら考え行動する力を育てる」と「生きる力」が同じ物と私は理解していますが、それらは、まず大人が児童生徒にどのような大人になって欲しいのかの選択肢を示した上で、それらを受け止めた児童生徒が将来何になりたいのかを選択することからしか始められないと考えています。</p>	<p>長期構想と並行して策定を進めている岐阜県教育ビジョンにおいて、未来へ向けて活力ある岐阜県を築いていくために、これからの岐阜県の教育が目指す人間像を、「高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」と明確に定めたところです。そして、この実現のために、自分に自信を持ち、たくましく生きることのできる「自立力」と、人や社会とつながり、豊かな人間関係を広げ、互いを活かすことのできる「共生力」、そして、高い志を持ち、夢に挑戦することのできる「自己実現力」という3つの力をバランスよく育成していくこととし、このために必要な政策を長期構想においても掲げているところです。</p>	
6	<p>地方分権時代の教育には、文科省の教育指導要綱のみを金科玉条とするのではなく、子どもたちにどのような大人になってほしいのかの将来像を示し、そのために大学では何を教え、高校では何が必要なかを説き、義務教育では大学までの道筋と人として生きるために最低限遵守しなければならないことを教える、そのような教育政策が必要なのではないのでしょうか。義務教育や高等教育を担う県教育委員会は、あらまほしき大人の姿を示さず、それを実現するための手続や仕組みを構築することもなく、かつ具体的選択肢を示さず、誰もが反対できない教育理念だけを提示して、後は子どもたちが「自ら考え行動せよ」では、後世から無責任の誇りを受けるのではないかと危惧するばかりです。</p>	<p>長期構想と並行して策定を進めている岐阜県教育ビジョンにおいて、未来へ向けて活力ある岐阜県を築いていくために、これからの岐阜県の教育が目指す人間像を、「高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」と明確に定めたところです。そして、この実現のために、自分に自信を持ち、たくましく生きることのできる「自立力」と、人や社会とつながり、豊かな人間関係を広げ、互いを活かすことのできる「共生力」、そして、高い志を持ち、夢に挑戦することのできる「自己実現力」という3つの力をバランスよく育成していくこととし、このために必要な政策を体系的に進めてまいります。</p>	
7	<p>P27 県内の小学生が将来の夢が持てない、さらに不登校児童数が増加していることに対して将来の夢や目標が持てる子どもの育成対策について ①岐阜県は大学が多数存在する。産学間の教育連携をすすめ、岐阜の文化、誇り(P30 岐阜県自慢)を教育する。 ②岐阜を正しく評価している海外都市と連携をすすめ、自然環境や文化を高揚する。 ③ ①②を進めることにより、希望、将来の夢を育む教育を進める。</p>	<p>将来の夢や目標の持てる子どもを育てるために、基礎的な知識の習得と同時に、様々な分野で活躍する指導者等の派遣による個性化教育、教科別の作品展、セミナーの開催などの児童生徒の多様な個性や能力を伸ばす教育を進めてまいります。また、子どもたちが文化に触れやすく、文化活動に参加しやすい環境づくりなど新たなふるさとの誇りを生み出すための取組も進めてまいります。今後の具体的な事業実施にあたっては、いただいたご提案も参考にしながら政策目的達成に効果的な事業を進めてまいります。</p>	

8	不登校の子について、学びの再チャレンジの場を増やすための環境整備を行ってほしい。	長期構想においては、人づくりについて、地域の一人として自ら考え行動できる「地域社会人」を育成する必要があると考え、そのためには将来の夢や目標の持てる子どもを育てることが重要であると位置づけております。その中で、不登校児童生徒へのケアの充実も位置づけており、3部制高等学校や定時制・通信制高校の教育の充実や、高等学校における学校・学科間の異動の弾力化の検討など、学びの再チャレンジができる教育環境の整備を進めていく旨記述しております。	
9	教員が専門外の教科を教えているという話を聞いた。教育現場においても、教員OBを積極的に活用してはどうか。	団塊シニア教員人材バンクを創設するなど、すでに教員OBの活用に取り組んでいます。ご意見を踏まえ、今後も教員OBを活用を推進していきます。	
10	5章5-3P117「○優秀な職員を確保し…」とあるが、「優秀な教員」という表現は的確であるのか。優秀であるかどうかということは客観性に欠けるのではないか。	子どもたちが確かな学力を身につけ、また個性や能力を伸ばしていくためには、子どもたちの成長をしっかりと支えられる教員の確保と資質向上が不可欠であると考え、そういう意味で「優秀な教員を確保し、研修により資質を向上する」ための政策を掲げております。	
11	5章5-3について、子育ての課題は、教員が悪いというよりも、家庭の教育がなっていない。親が子どもの機嫌をとっているようではいけない。まずは親の教育をおこなわなくてはならない。	子どもたちに基本的な生活習慣や規範意識、思いやりの心、善悪の判断など基本的倫理観を身につけさせる上で家庭教育の役割は非常に重要であると考え、家庭が本来担っている家庭教育の役割を家庭が十分に果たせるよう、企業等と連携して家庭教育の充実を図っていく旨、長期構想に位置づけているところです。今後は、企業等が実施する家庭教育の社員研修への講師派遣、家庭教育講座などの実施、PTA活動を通じた支援など、家庭教育支援の取組を進めてまいります。	
12	5章V-3について、地域のコミュニケーション、こどもの教育等の問題などについては、家庭がしっかりすれば全て解決するのではないか。家庭教育にしっかりと取り組んでいかないといけない。	子どもたちに基本的な生活習慣や規範意識、思いやりの心、善悪の判断など基本的倫理観を身につけさせる上で家庭教育の役割は非常に重要であると考え、家庭が本来担っている家庭教育の役割を家庭が十分に果たせるよう、企業等と連携して家庭教育の充実を図っていく旨、長期構想に位置づけているところです。今後は、企業等が実施する家庭教育の社員研修への講師派遣、家庭教育講座などの実施、PTA活動を通じた支援など、家庭教育支援の取組を進めてまいります。	
13	5章V-3について、ITは必要であるが、小学生のころから学校で教える必要はない。パソコンは感性を伸ばす教育を阻害する。	高度情報社会の中で児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の向上を図ることは重要であると考え、情報教育の充実に向けた取組を進めてまいります。しかしながら、情報が氾濫する社会で、インターネットや携帯によるいじめや子どもが犯罪に巻き込まれる事案が増えていることから、情報活用能力の向上に向けた取組とともに、情報モラル教育、情報セキュリティ教育も一層進めてまいります。	
14	5章V3で、部活動で体を動かすことには、脳の活性化や子ども同士のコミュニケーションを活発にするなどの効果があるが、指導者の不足などで、以前に比べ学校の部活動が少なくなり、スポーツをしない子どもが増えている。礼儀など人間としての基本を培うためにも、多くの子どもがスポーツをすることができる環境を整えるべきではないか。	長期構想においては、スポーツを通じた健康・体力づくりを政策の一つに位置づけ、学校における運動・スポーツ活動を推進していく政策も提示しているところです。今後は、ご指摘のありました運動部活動の活性化に向け、外部指導者の活用をはじめとした環境整備に取り組んでまいります。	
15	P119の「○青少年の健全育成に取り組むー(2)健全な青少年を育む社会環境をつくるー ◆児童館・児童センター～(略)～との連携を強化する」 当該標記の箇所へ、『青年団体』や『青年団』等の表現を入れて欲しい。	青少年の健全育成のためには、青年団や青年団体との連携が不可欠であると考えており、「◆関係業界、関係機関・団体、青少年健全育成関係者等の相互連携を強化する」旨記述させていただいております。	
4 生涯を通じての健康づくりに取り組む			
1	介護人材の不足に対応するため、将来受けるケア時間を貯託することで安心感の得られるシステムを構築すべきと考えます。定年後もしくは5～60歳代の健康な人がどれだけ多く朝夕に健康のためウォーキングなされている様子から県民として勤めるべき責務として県・市町村が啓発すべきと思う。	ご指摘のとおり、要介護高齢者の増大に対応していくためには、介護人材を確保していくとともに、まずは高齢者になっても介護を必要とせず、健康で生き生きと暮らせる方を増やすことが大切であると考えております。長期構想においても、生涯を通じた健康づくりを政策の柱に位置づけ、介護予防などの普及啓発や人材育成に取り組むとともに、スポーツを通じた健康づくりに取り組んでまいります。	

2	<p>健康づくりが大切であり、世界一長寿でも健康で、医療費がかからず、逆に働いて納税してもらえれば、全然、高齢化社会を恐れることはない。高齢者の活用と健康維持が最も重要であり、高齢者がいつまでも健康で、働いて、社会に貢献できるようなシステムを理想として描いて欲しい。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、高齢者がいつまでも健康で元気に、そして能力を活かして地域で生き生きと活躍できる地域にすることは重要であると考え、長期構想においても、「生涯を通じての健康づくりに取り組む」、「高齢者が生涯現役で活躍できる社会をつくる」を政策の柱に掲げており、今後はその実現に向けた取組を進めてまいります。</p>	
3	<p>国体を契機にスポーツ振興が必要。選手の強化、成年の部の強化は、今までの一企業がチーム抱える方式から、多くの企業が協力してクラブを作る方向に変わってきている。現在、岐阜県でも、50社を超える企業に協力をいただいている。県行政が全部を抱えて振興する時代ではない。官民一体になってクラブを作るなど、国体を契機に、選手強化のシステム作りを行政が指導し、国体終了後も定着するようにしなければならない。さらに、少年の部を含めて、全体を考えると小中高の各学校・大学・企業が連携し、高度化思考のある選手が安心してスポーツに取り組める豊かなスポーツ環境を作る必要がある。民の協力が不可欠。</p>	<p>国体を契機に、企業・大学・クラブ等の協力を得てできた成年の強化拠点チーム・クラブを頂点とし、ジュニアから成人までの一貫した選手強化システムにより、国体開催後も、継続的に高い競技水準に努めていきたいと考えています。 また、スポーツ科学トレーニングセンターを活用した選手強化や指導者養成及び官民一体となったクラブづくりに努めるなど、スポーツ環境の整備にも努めてまいります。</p>	
4	<p>国体開催に伴い、県民のスポーツへの関心が高まることと思う。国体競技を地域のシンボルスポーツとして根付かせることも大切であるが、県民の多くがスポーツの良い面を理解し、楽しさを享受できるようなイベントなどを実施し県民のスポーツへの参加機会を多くする。さらに、継続的にスポーツを実施したい県民のために、地域スポーツクラブの育成を積極的に進める。</p>	<p>県民の皆様が生涯を通じて健康に暮らせるよう、若い頃からの健康づくりが重要であると考え、健康づくりを政策の柱に位置づけております。健康づくりにあたっては、スポーツを通じた健康・体力づくりも必要であると考え、県民総参加によるスポーツ大会の開催や総合型地域スポーツクラブ設立、育成への支援をはじめ、幼児から高齢者まで県民の誰もがスポーツを楽しむことができる生涯スポーツの振興に取組み、国体を契機に生まれた県民の皆様へのスポーツに対する関心の高まりを、国体後にもつなげていきたいと考えております。</p>	
5	<p>スポーツ事業の展開には、県の補助金は必要であるが、受益者負担を進め、多数の企業から少額の支援を得るように努めることも大切である。</p>	<p>地域スポーツの振興にあたっては、地域の実態、ニーズの把握に努め、行政のみではなく、ボランティア等県民の皆様との協働、企業からの支援、各種団体との連携を図りながら、県民挙げて取り組んでいきたいと考えております。</p>	
6	<p>P121の「〇食育を推進する」というのは今の時代、本当に大事だと思う。いつでも何でも食べられる時代であるが、地域でとれたもの、季節のもの、を感謝していただき、地元でとれないものはたまにしか食べられない、という方が子どものためにもよいと思う。</p>	<p>ご意見のとおり食育は重要な政策であると位置づけ、p122においても子どもの頃からの食育の推進に重点を置いて取り組んでまいります。また、学校給食における県産農産物の利用促進も地産地消における重要な政策と位置づけ、取組を進めてまいります。</p>	
7	<p>食育は非常に大切である。小中学校では単に食事や栄養の大切さというだけではなく、地域の産業である農業の生産の結果、自分たちの食べるものがあるのだという当たり前の事を教え、農業に関心をもってもらうように食育に加えて欲しい。スーパーで簡単に購入できる時代だからこそ、地域の「食」はどういうもので、農業がどのように関わっているのなどは、地域の食の起源はやはりその地域の農業であるということを教えて欲しい。</p>	<p>ご意見のとおり、子どもの頃からの食農教育は重要であると考え、長期構想においても、幼児、小中学校教育における食農教育を進める旨記述しているところであり、今後とも食農教育を進めてまいります。</p>	
8	<p>農産物の地産地消を拡大するについて、県内産農産物を利用した新たなメニューや給食、社内食堂での利用モデル事業の実施が挙げられているが、教育的な面から県内産の農産物を食べることから学びに繋げることを加えていただきたい。(地産地消から食育につなげるなど、もっと積極的に取り組むといいのではないかと。子どもの頃から、味覚と農業への関心を高めるといった観点が必要であろう)。</p>	<p>ご意見のとおり、子どもの農業への関心を高めるため、あるいは地産地消の拡大のために食農教育は非常に重要であり、長期構想においても、「食農教育を推進する」政策を掲げているところであり、幼児や小中学校教育における食農教育、農業体験の支援などを行うとともに、学校給食における県産農産物の利用拡大に向けた取組も進めてまいります。</p>	
<p>5. ふるさとへの誇りと愛情を育てる</p>			
1	<p>今、日本という国が考えなくてはならない多くの問題がうまくとめてあり感心しております。いずれ地方分権が進み、真剣に考えなければならない問題ばかりです。高齢化社会・人口減少と県民一人一人が真剣に考えなければならないと思います。それには「第一に岐阜県・ふるさとを愛する心」を一人でも多くの人に持っていただかなければなりません。行政に関わる方に大いにリーダーシップを発揮していただき、地域の小さなふれあい広場から大きな広場へと広がっていく事を願っております。</p>	<p>いただいたご意見にあるとおり、地域の人材が地域にとどまり、情熱を持って地域づくりに取り組むうえで、自らが生まれ育ったふるさとに誇りを持ち、大切にできる心が支えになると考えております。長期構想においても、「ふるさとへの誇りと愛情を育てる」を重要な政策の柱に位置づけ、将来にわたって地域に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。</p>	

2	<p>P122に関連して、故郷を中学校と同時に離れている人が定年をむかえる今こそ、また故郷に目を向けていただきたいと思い、できるだけ足を運ぶにはどうしたらいいか。故郷の行事カレンダーを送り、みんなで集まるのが何かないかと考えています。ふるさとに愛情がない人はいないと思いますが、仕事に、家事に忙しさの中で薄れてしまったと思います。「愛情を持つ子供を育てるために・・・」と書かれているように教育(文部科学省が無理なら県独自でも)高校生になんとか教育をと思います。岐阜県の未来は自分たちの手でと言えるように。</p>	<p>いただいたご意見にあるとおり、地域の人材が地域にとどまり、情熱を持って地域づくりに取り組むうえで、自らが生まれ育ったふるさとに誇りを持ち、大切に心が支えになると考えております。長期構想においても、「ふるさとへの誇りと愛情を育てる」を重要な政策の柱に位置づけ、地域の自然、歴史、芸術文化、伝統文化、産業などについて学ぶ「ふるさと教育」を充実させ、ふるさとのよさを伝えることで、地域に誇りと愛情を持つ子どもを育ててまいります。また、岐阜県出身者などを「岐阜県ファンクラブ」として組織化し、ふるさとの情報を提供するなどの取組も進めてまいります。</p>	
3	<p>地元にもっと愛着を持てるような教育を進めてほしい。また、地元を支える消防団やPTAなどの魅力が伝わらない為、敬遠されがちであるので、もっと若い人が積極的に関わられるような魅力あるものに変えていく努力が必要。</p>	<p>地域に暮らす人たちがその地域にとどまり、情熱を持って地域づくりに取り組むうえで、自らが生まれ育ったふるさとに誇りと愛情を持つ心が支えになると考え、長期構想においては、「ふるさとへの誇りと愛情を育てる」を政策の柱に位置づけているところであり、ふるさと教育を充実させ、ふるさとのよさを伝えてまいります。また、ご指摘のごさいました消防団・PTAについては、その魅力向上や若い人の参加に向けた取組を進めてまいります。</p>	
4	<p>”生まれてきて良かった”と思える子ども達を育てることが大切。そこから全てが生まれ、「誇り」が出てくる。 岐阜県で生まれて良かった、と思えるコトが必要。</p>	<p>岐阜県に生まれ育ってよかったと思えるよう、長期構想に掲げた政策の着実な実施に努めてまいります。また、人づくりに関しては、ふるさとに誇りと愛情を持つ子どもを育てるために、ふるさと教育などの取組を進めてまいります。</p>	
5	<p>5章V5で、地域の特産物や売りたい物を県内全ての市町村から出させてはどうか。地元の良さを県民が知ることが希望や誇りの持てる岐阜県づくりにつながるのではないかと。</p>	<p>長期構想においては、人口減少に伴う地域内消費の減少を補うためには、モノをつくって地域外からお金をかせぐ地域をつくるとともに、地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やすための取組を重要な政策と位置づけたところです。 そのためにはまず訪れたいと思う地域づくりを進める必要があります。ご意見のとおり、地域資源の徹底的な掘り起こし、そして地域の魅力や資源をPRしていくことが重要であり、「飛騨・美濃・まん運動」の取組を通じた地域資源の発掘とともに、農畜産物も含めた県産品の開発・PRや市場拡大に向けた取組などを進めてまいります。</p>	
6	<p>どのような産業の育成策をとっても文化の伴わないものは長続きしないし、魅力も出てこないと思う。岐阜県のアピールを考えた時、何がベターなのか。観光で言えば「来てよかった」と言わしめるプラスアルファは何であろうか。県民性を持つ人情であり、ふれあいの精神であるがこそ何か付け加えるとしたら「癒し効果」を持つ笑顔ではないだろうか。岐阜の県民性は勤勉でよく働くところがあるが、他県に比べて文化につなげる遊び心が不足している気がしてならない。昨今、笑いは自己免疫力を高めた健康保持に高い有効性が証明されているが対象となる場所やイベントは皆無に近い。「美濃にわか」という伝統芸などを掘り起こすなどにより若者が楽しさというゆとりが感じられる街作りが待たれる。</p>	<p>ご意見にあるとおり、県民が豊かに暮らしていくためには、心のゆとり・心の豊かさが必要であり、そのために文化の醸成が重要であると考えます。長期構想においても、ふるさとの文化、伝統を守る取組や新たな地域の文化をつくり出す取組を進めていくこととしており、いただいたご提案も参考にしながら、県民の皆様が文化に触れやすく、参加しやすい環境づくりを進めてまいります。</p>	
7	<p>6章16-IVについて、国体を契機に地域づくりが促進されることを期待する。例えば、商店街の空き店舗を活用して商店街まるごと選手村あるいは町全体が選手村のような取り組みはできないか。宿泊先も場合によってはホームステイのような方式もいいのか。</p>	<p>ぎふ清流国体・ぎふ清流大会については、県全体でおもてなしができるよう準備を進めるほか、国体を一過性のイベントで終わらせないために、国体を契機とした地域づくりを進めることとしており、長期構想においてもその旨明記しているところです。いただいたご提案も参考にしながら、地域ブランドを活かした国体弁当・標準献立を開発したり、宿泊施設が不足するような市町において、民泊実施に向けた取組を支援するなどの取組を進めてまいります。</p>	
8	<p>P156の、一時のイベントとして盛り上がることは想像できるが、もっと県民生活に直結するような施策を重点へ取り入れるべきではないか。国体事業に関しては、サポーター参加等の事業協力をする団体も多いのではないかと。</p>	<p>ぎふ清流国体・ぎふ清流大会に地域ぐるみで参加していただけるよう、「おもてなし」スポーツ振興・健康づくり」「美しい環境と清流」の分野で県民運動を展開していきたいと考えております。 また、両大会を契機として、県民の皆様が地域への一体感とふるさと岐阜県を誇りに思う気持ちを高めていただき、地域づくりを進めていただけるよう取り組んでいきたいと考えております。</p>	